

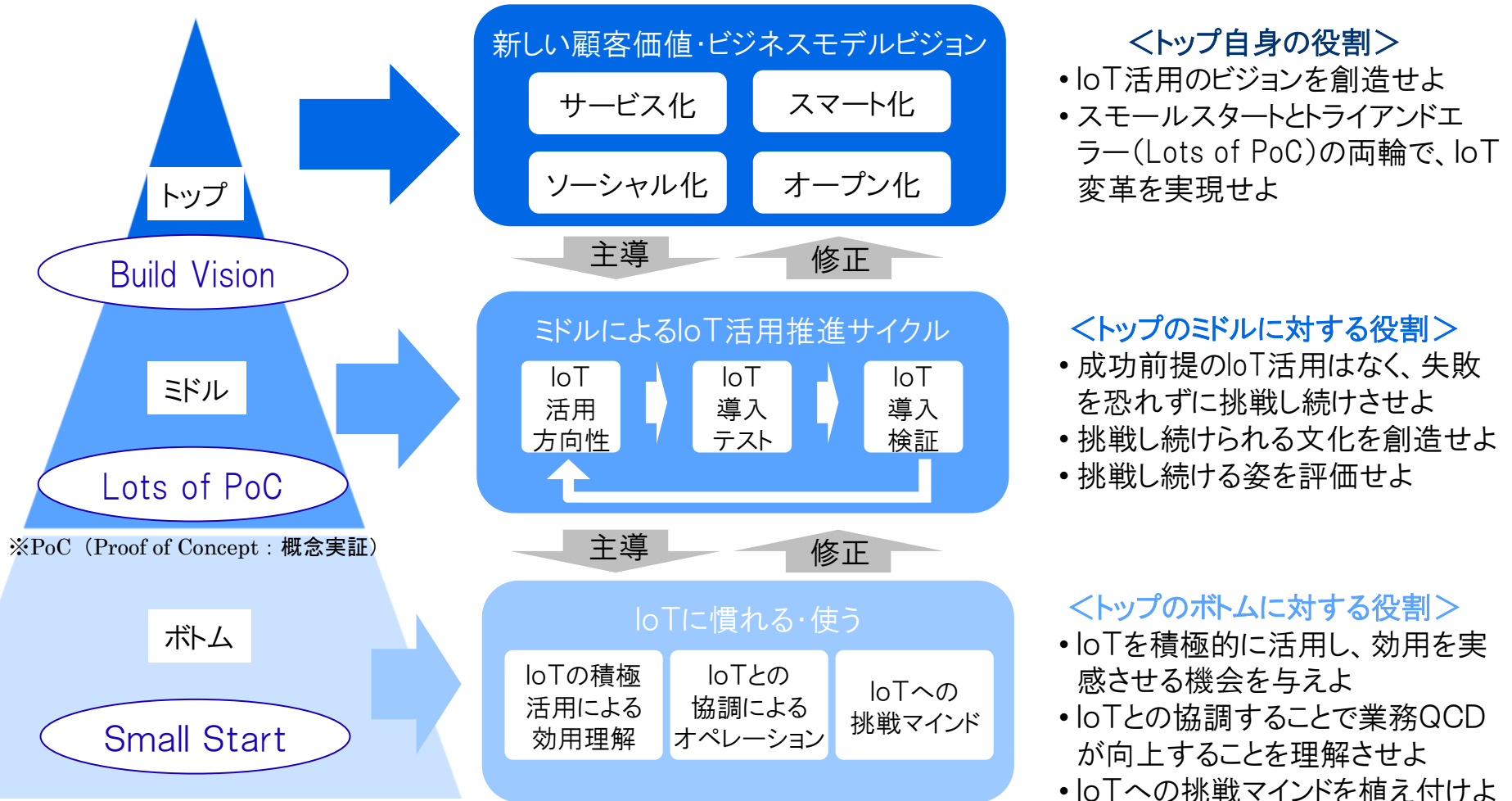
「IoT for ビジネス革新研究会」提言

《国内IoT活用推進のための4つのポイント》

1. 経営トップはIoT活用推進の司令塔となれ
2. デジタルトランスフォーメーションがもたらす
変革のステージを見極めよ
3. 業界のIoTを標準化・プラットフォーム化し共有せよ
4. IoTを活用できる体制を早急に整備せよ

提言1 経営トップはIoT活用推進の司令塔となれ

- トップダウンによるIoT推進は成功の鍵。
- 成功前提のIoT活用はない。失敗をおそれず挑戦しつづけねばならないと認識すべき。
- エラーを許す文化を経営が醸成し、現場やミドルマネジメント層が積極的に動ける環境が必要。



提言2 デジタルトランスフォーメーションがもたらす変革のステージを見極めよ

■ 今見えているベネフィットや現在の価値観を超えて、変革のステージを創造せよ。

オープンイノベーション
(サプライチェーン連携)

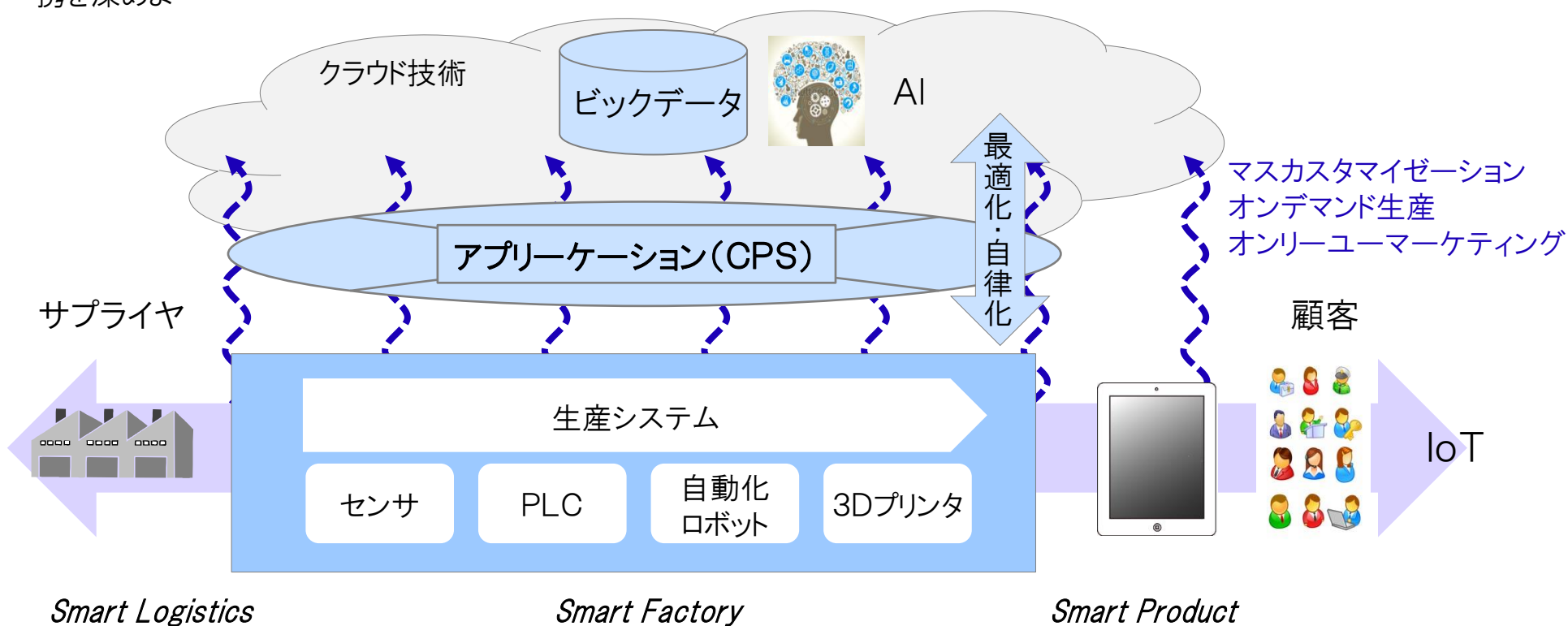
顧客提供価値を最大化させるために、サプライヤ(または同業種、異業種間)で強みを統合化させ、連携を深めよ

価値提供プロセスイノベーション
(プラットフォーム構築)

IoTプラットフォームを使った新しい価値提供プロセスを構築せよ
(シメンス:Industrie4.0、GE:Predix)

顧客起点プロダクトイノベーション
(UIからUXへ)

ものからコトへ顧客価値を再定義せよ(CBM、従量課金制など)
※Condition Based Maintenance



Smart Logistics

Smart Factory

Smart Product

提言3 業界のIoTを標準化・プラットフォーム化し共有せよ

- 各業界で実現されたプラットフォームとその共有化を推進し、グローバルで競争できる土壌を構築せよ。



＜標準化・プラットフォーム化の狙い＞

- 世界では政府、企業間で連携が進む中で、日本もグローバルに負けないスピード感でIoTを活用推進できる。
- ビックデータ、ソフトウェア開発、AI導入、セキュリティなどのIoTプラットフォーム構築費用の増大による固定費の増加を低減できる。

何を標準化、プラットフォーム化するか？

標準化・プラットフォーム化

アプリケーション
(モニタリング、最適化など)

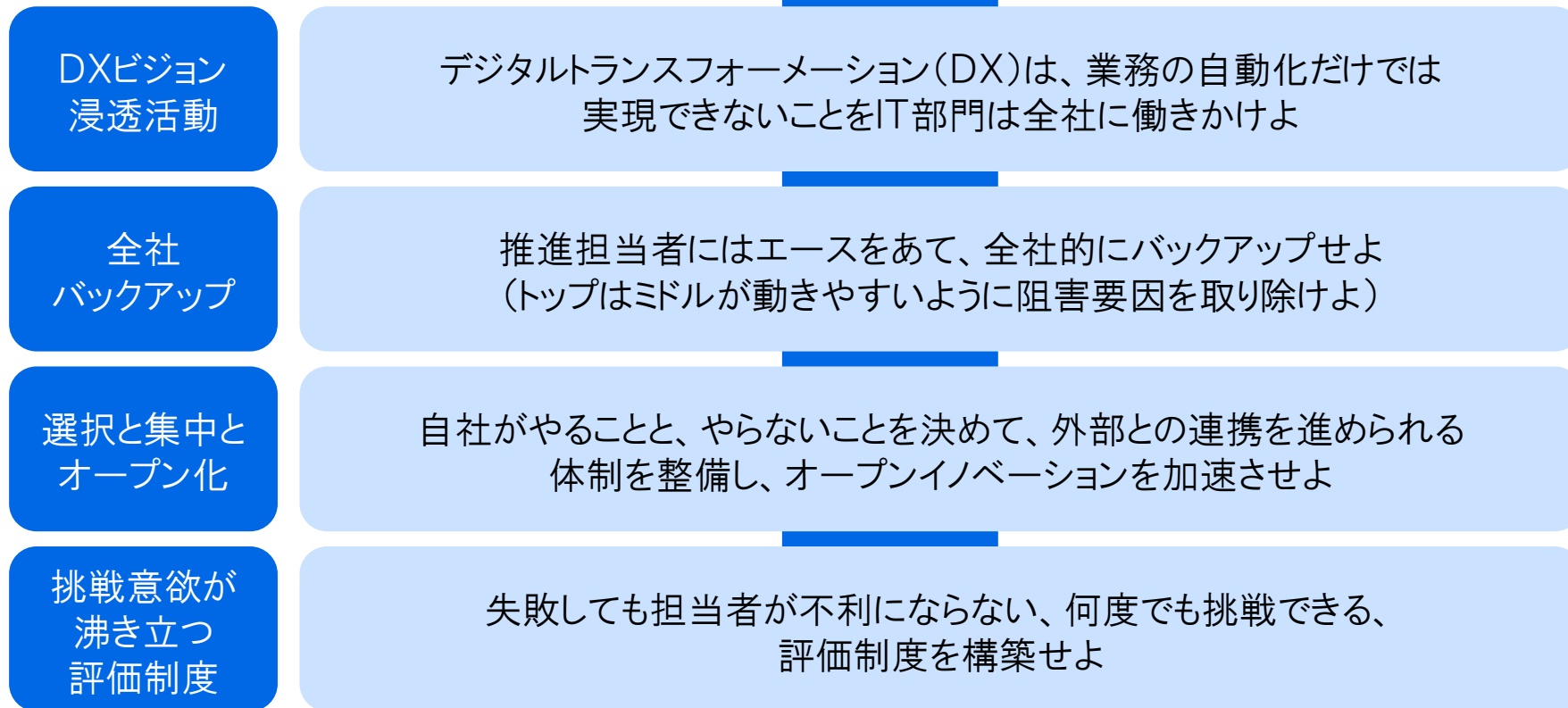
アプリケーションプラットフォーム
(開発・実行環境)

データ解析エンジン
(アルゴリズム)

顧客/製品のデータベース
(ビックデータ)

提言4 IoTを活用できる体制を早急に整備せよ

- 大切なのは、「今」やること、つかうこと、チャレンジすること。
- 若いIT人材を多く登用し、IoT推進に関し、IT部門が率先して働きかけを行い、社内でITに多くの味方を作るということが必要である。



国内IoT活用推進はスピードが肝要